

『総合型地域スポーツクラブ』

について紹介します

国のスポーツ振興基本計画では、生涯スポーツ社会の実現をめざし、その目標として成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人以上なることを掲げています。そして、この目標を実現するための具体的な施策として総合型地域スポーツクラブの全国展開をあげています。総合型地域スポーツクラブは、これまでのスポーツの枠組みを大きく変えるものでありますが、スポーツ振興は、このクラブを中心に展開されていくことになります。

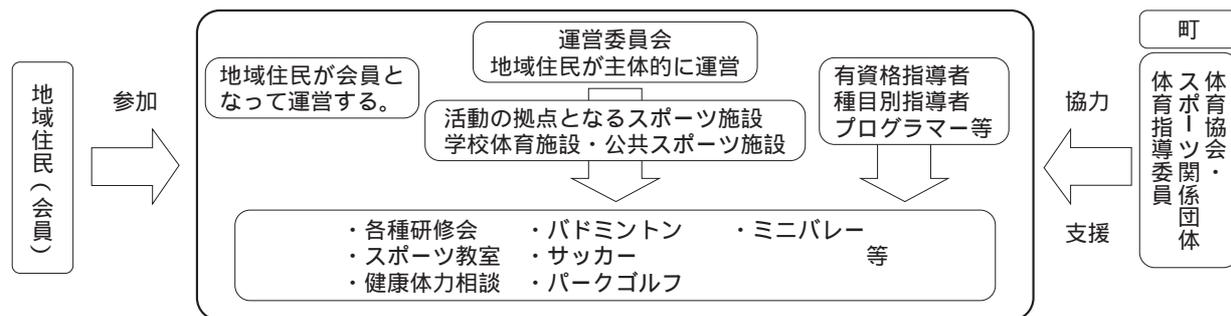
和寒町でもこの方針を受け、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」気軽にスポーツ活動を楽しむための環境を整備するため、「総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」が結成しました。

今後、クラブの概要（スポーツクラブの特長や行うメリット）をはじめ、『総合型地域スポーツクラブ』設立に向けた取り組みや活動（事業の案内募集、報告）など、広報やお知らせ版で、クラブに関する情報を紹介いたします。

第1回目は、総合型スポーツクラブの概要、一般的な特長を紹介いたします。

総合型地域スポーツクラブとは？

総合型地域スポーツクラブは地域住民が主体的に設立・運営し、誰もが、目的や技術レベルに応じて、複数の種目を楽しめる、地域に開かれた総合的なスポーツクラブのことです。



上図は一般的なクラブのスタイルで、各クラブによって若干の違いはあります。

総合型地域スポーツクラブの一般的な特長

複数の種目が用意されています。

体育協会の単位団体や、スポーツ少年団では、例えば「卓球協会」「野球スポーツ少年団」など特定の種目によるスポーツ活動が中心です。一方スポーツクラブでは特定の1種目だけでなく、「今回はパークゴルフ」「今回はウォーキング」となどさまざまなメニューの種目を体験することができます。



また、他の市町村では「そば作り」や「アロマセラピー」などの文化活動などを一緒に取り入れながら行っているクラブもあり、これらによって、スポーツを続けてきた人はもちろんのこと、これまでスポーツをする機会がなかった人に対しても広く門戸が開かれていき、スポーツ参加や社会参加のきっかけがひろがります。

子どもからお年寄りまで、さまざまな年代のひとが参加できます。

既存のスポーツ団体は、小中学生単位であったり、成人による団体など、世代が限定されているところが大半です。総合型クラブでは、世代が限定されず、スポーツ体験を親子で行ったり、世代ごとに行ったりと、さまざまな工夫が期待されます。これによって、地域のさまざまな世代の交流が広がり、地域の一層の活性化につながります。

地域住民が自主的に運営します。

地域住民が中心となり「こんなスポーツをやりたい」「こんな活動を色々な人とやってみよう」といったニーズを基に、種目を選んだりプログラムを作り上げていきます。既存の体育関係者間はもちろん、各関係部局（福祉、学校など）との連携の下、さまざまな人のつながりによる「わっさむスタイル」のスポーツ活動が展開されます。

